

第6次総合計画後期基本計画策定に  
関するアンケート調査  
結果報告書（概要版）

令和7年1月  
福岡県春日市

## 1 各行政分野に対する満足度・重要度

### 1 各行政分野に対する満足度（43項目）

#### <上位5項目>

順位 (前回)	施策	満足度 (前回)
1 (1)	上水道の安定供給	91.8% (92.2%)
2 (2)	消防、救急体制の充実	87.3% (88.9%)
3 (3)	リサイクルの促進	84.4% (84.2%)
4 (7)	公園の整備	75.8% (78.0%)
5 (8)	学校教育の充実	72.7% (77.2%)

#### <下位5項目>

順位 (前回)	施策	満足度 (前回)
39 (39)	歩道整備	45.0% (50.2%)
40 (-)	認知症の方への理解と共生	41.1% -
41 (31)	市民の行政への参加意欲の向上	40.6% (61.9%)
42 (41)	商店街の活性化	35.7% (50.2%)
43 (42)	安全で快適な交通の確保	27.3% (30.1%)

○上位3項目は前回調査と同様の傾向となっています。

○交通面での安全対策や商店街の活性化、認知症の方への理解に関する満足度が低い傾向にあります。

### 2 前回調査と比較して、満足度が上昇している2項目

順位	施策	今回 (%)	前回 (%)	上昇値 (ポイント)
1	春日原駅周辺の歩道整備	54.4%	49.9%	4.5
2	リサイクルの促進	84.4%	84.2%	0.2

### 3 前回調査と比較して、満足度が低下している5項目

順位	施策	今回 (%)	前回 (%)	低下値 (ポイント)
1	市民の行政への参加意欲の向上	40.6%	61.9%	21.3
2	行政運営の効率化	48.5%	64.9%	16.4
3	生涯学習成果の機会の提供	49.9%	66.2%	16.3
4	文化芸術にふれる機会の充実	46.7%	62.9%	16.2
5	障がい者の生活支援	47.6%	63.4%	15.8

○前回調査と比較して、満足度が大きく低下したのは「市民の行政への参加意欲の向上」です。

#### 4 各行政分野に市民が感じる相対的な重要度（全43項目）

##### <上位5項目>

順位 (前回)	施策	重要度 (前回)
1 (1)	上水道の安定供給	96.4% (93.0%)
2 (6)	消防、救急体制の充実	96.3% (91.3%)
3 (3)	自然災害対策の充実	94.9% (92.4%)
4 (5)	歩道整備	93.8% (91.8%)
5 (2)	交通標識の整備	93.7% (92.6%)

##### <下位5項目>

順位 (前回)	施策	重要度 (前回)
39 (37)	商店街の活性化	78.8% (81.4%)
40 (41)	歴史遺産や文化財の保全、継承、活用	75.6% (75.9%)
41 (34)	男女共同参画	75.2% (82.8%)
42 (42)	文化芸術にふれる機会の充実	75.1% (75.1%)
43 (40)	地域住民の交流の促進	74.3% (78.2%)

- 上位項目は前回調査と同様の傾向となっておりますが、「消防、救急体制の充実」の重要度が高まっています。
- 下位項目では「男女共同参画」の重要度が低下しています。
- 「上水道の安定供給」、「消防、救急体制の充実」は満足度、重要度ともに高く評価されている一方で、「商店街の活性化」は満足度、重要度ともに低く評価されています。

## 5 重要度と満足度の相関図による分析

### (1) 相関図分析の概要

調査で得られた各施策の重要度と満足度をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、42の施策の相対的な関係を散布図上に示したものが次の相関図です。

相関図の各領域は、以下のような傾向を示しています。

#### A. 重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域。

#### B. 重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

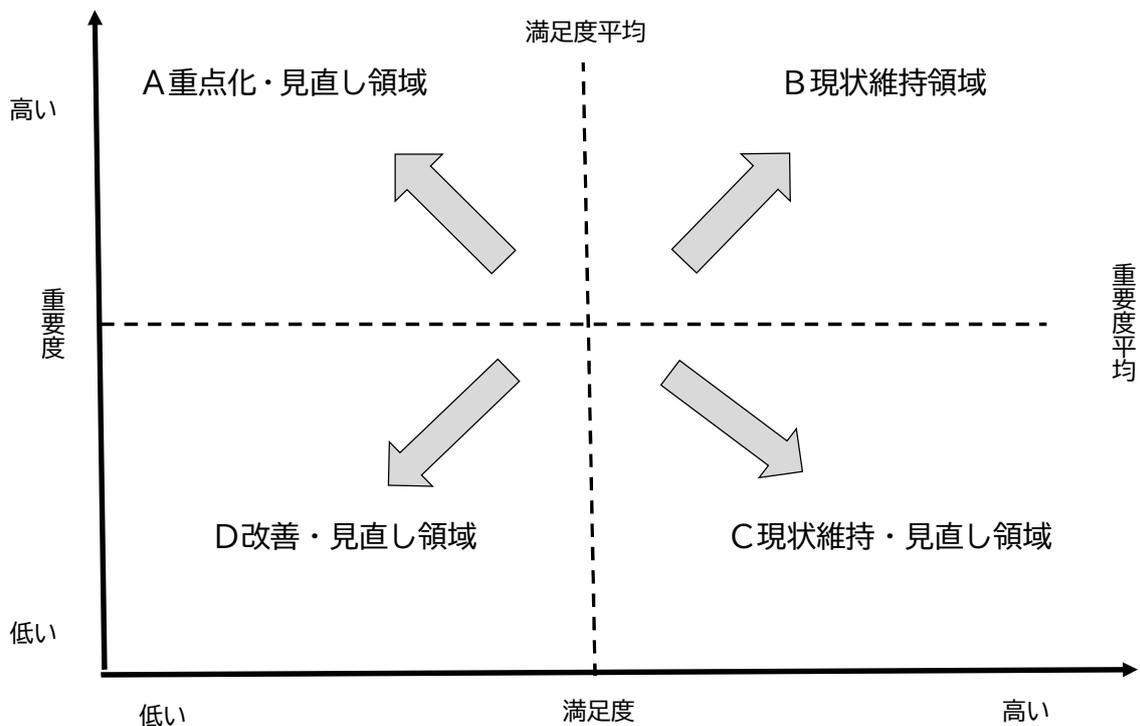
今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくとともに、費用対効果を高めるための改善が必要な領域。

#### C. 重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直す必要のある領域。

#### D. 重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）

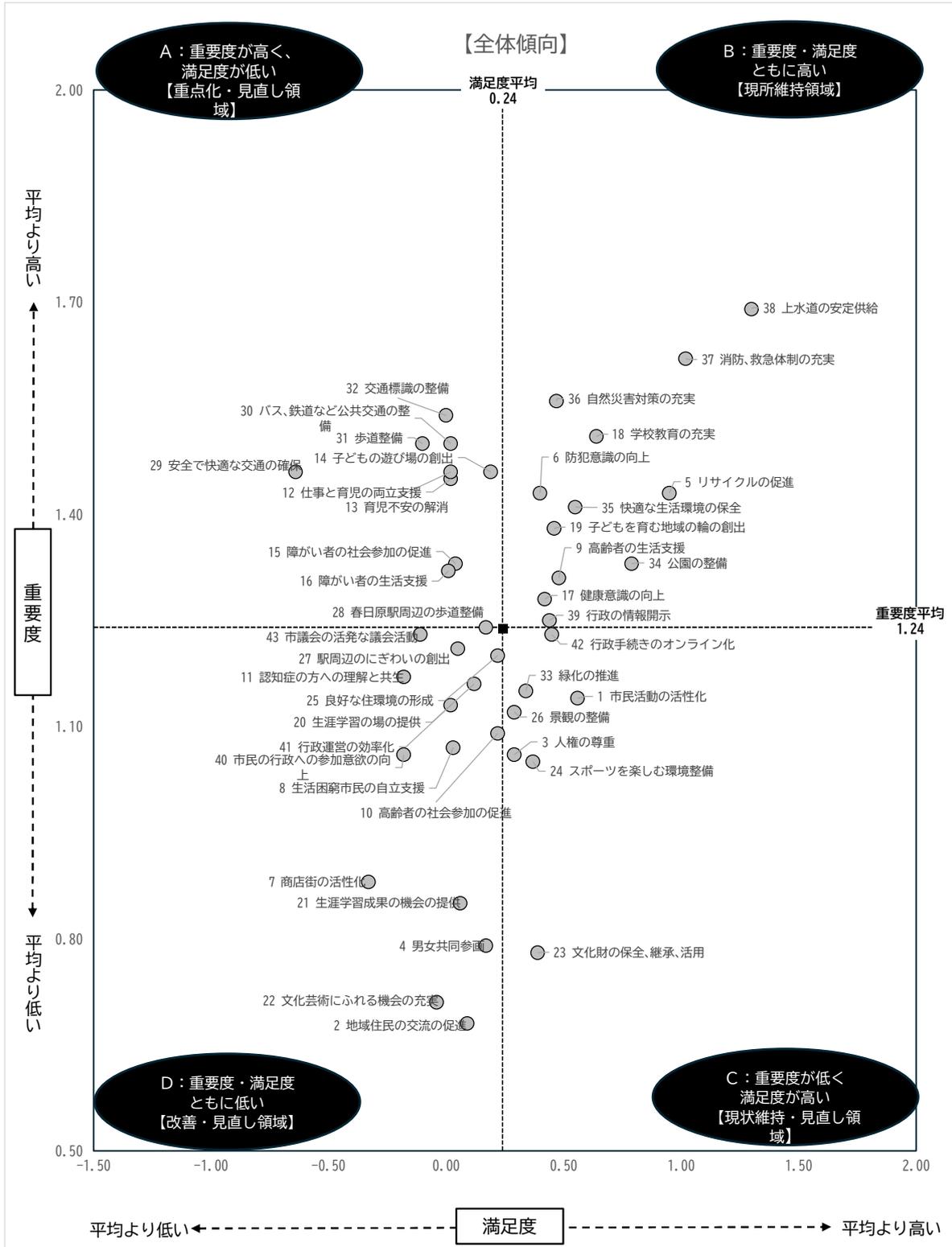
今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。



## (2) 分析

○重点分野となる【重点化・見直し領域】では、「32 交通標識の整備」「30 バス、鉄道など公共交通の整備」「31 歩道整備」「29 安全で快適な交通の確保」など交通環境分野、「12 仕事と育児の両立支援」「13 育児不安の解消」「14 子どもの遊び場の創出」など子育て環境分野、「15 障がい者の社会参加の促進」「16 障がい者の生活支援」、「28 春日原駅周辺の歩道整備」となっています。

○重要度、満足度ともに高い【現状維持領域】は、「38 上水道の安定供給」「37 消防・救急体制の充実」、重要度が低く、満足度が高い【現状維持・見直し領域】は、「23 文化財の保全・継承・活用」、重要度・満足度ともに低い【改善・見直し領域】は、「2 地域住民の交流の促進」「22 文化芸術にふれる機会の充実」となっています。



## 2 施策の優先度、市民参画の意識

### 1 市が取り組むまちづくりとして、優先順位が相対的に高いもの

※各回答者が全43項目から5項目まで選択（回答）

#### <今回調査 上位5項目>

順位 (前回)	施策	回答率 (前回)
1 (1)	仕事と育児の両立支援	34.9% (29.4%)
2 (5)	バス、鉄道など公共交通の整備	29.0% (21.5%)
3 (3)	高齢者の生活支援	28.1% (22.9%)
4 (2)	安全で快適な交通の確保	27.0% (25.5%)
5 (8)	防犯意識の向上	23.4% (19.3%)

#### <前回調査 上位5項目>

順位	施策
1	仕事と育児の両立支援
2	安全で快適な交通の確保
3	高齢者の生活支援
4	学校教育の充実
5	バス、鉄道など公共交通の整備

○仕事と育児の両立支援や公共交通網の整備、防犯意識の向上の優先順位が高くなっています。

○前回調査と比較すると、上位項目はほぼ同様の傾向ですが、防犯意識への関心が高まっています。

### 2 市が取り組むまちづくりとして、優先順位が相対的に低いもの

※各回答者が全43項目から5項目まで選択（回答） 上位のものほど優先順位が低いことを示す。

#### <今回調査 上位5項目>

順位 (前回)	施策	回答率 (前回)
1 (3)	文化芸術にふれる機会の充実	19.4% (14.5%)
2 (3)	景観の整備	18.7% (14.5%)
3 (1)	駅周辺のにぎわいの創出	17.9% (17.0%)
4 (6)	商店街の活性化	17.6% (12.8%)
5 (2)	生涯学習成果の機会の提供	16.7% (15.5%)

#### <前回調査 上位5項目>

順位	施策
1	駅周辺のにぎわいの創出
2	生涯学習成果の機会の提供
3	文化芸術にふれる機会の充実
	景観の整備
5	緑化の推進

○前回調査と比較すると、上位項目はほぼ同様の傾向ですが、「文化芸術にふれる機会の充実」「商店街の活性化」の優先度が低下している傾向がみられます。

### 3 市民が地域活動やボランティア活動で積極的に関わった方がよいもの

※各回答者が全43項目から5項目まで選択（回答）

#### <今回調査 上位5項目>

順位 (前回)	施策	回答率 (前回)
1 (2)	防犯意識の向上	30.3% (25.3%)
2 (1)	子どもを育む地域の輪の創出	27.0% (27.8%)
3 (3)	リサイクルの促進	24.2% (23.0%)
4 (8)	高齢者の生活支援	19.6% (14.1%)
5 (4)	地域住民の交流の促進	18.7% (20.2%)

#### <前回調査 上位5項目>

順位	施策
1	子どもを育む地域の輪の創出
2	防犯意識の向上
3	リサイクルの促進
4	地域住民の交流の促進
5	育児不安の解消

○前回調査と比較すると、「防犯意識の向上」「高齢者の生活支援」が順位を上げています。

### 4 地域活動やボランティア活動の参加状況

	今回（令和6年度）		前回（令和4年度）		前々回（平成30年度）
	回答率	増減(ポイント)	回答率	増減(ポイント)	回答率
活動している	10.6%	↓ 1.8	12.4%	↓ 3.3	15.7%
活動していないが、活動してみたいという気持ちはある	17.8%	↓ 2.1	19.9%	↓ 1.4	21.3%
活動していない	63.9%	↑ 2.7	61.2%	↑ 0.4	60.8%

#### <活動していない理由：今回調査 上位5項目>

順位 (前回)	施策	回答率 (前回)
1 (1)	仕事が忙しく余裕がないから	32.2% (32.3%)
2 (2)	自分のことで精一杯だから	29.9% (29.0%)
3 (3)	趣味や余暇活動を優先したいから	11.9% (9.3%)
4 (4)	興味や関心がないから	7.7% (7.6%)
5 (6)	いまの地域活動に魅力を感じないから	6.1% (3.8%)

#### <前回調査 上位5項目>

順位	施策
1	仕事が忙しく余裕がないから
2	自分のことで精一杯だから
3	趣味や余暇活動を優先したいから
4	興味や関心がないから
5	外出できない事情があるから

○地域活動やボランティア活動への参加や関心度は低下傾向にあります。

○前回調査よりも、地域活動に魅力を感じないことを理由に上げる人が増えています。